

【ポイント】

- ✓ 徳島市では地域計画の策定後、計画の実効性を確保するために施策の進捗管理・評価や見直し等を効果的に行う方策を検討
- ✓ そこで、施策の進捗管理・評価や見直し等に対し専門的知見や市民の意見を反映させるため、学識経験者、各種団体代表者及び公募市民で構成する「徳島市国土強靱化地域計画推進市民会議」を設置
- ✓ 毎年度実施している同会議では、地域計画に位置付けた施策等の進捗管理を審議するのみならず、新規施策やKPIの設定についても検討しており、市は同会議の意見を踏まえ、地域計画を毎年度更新

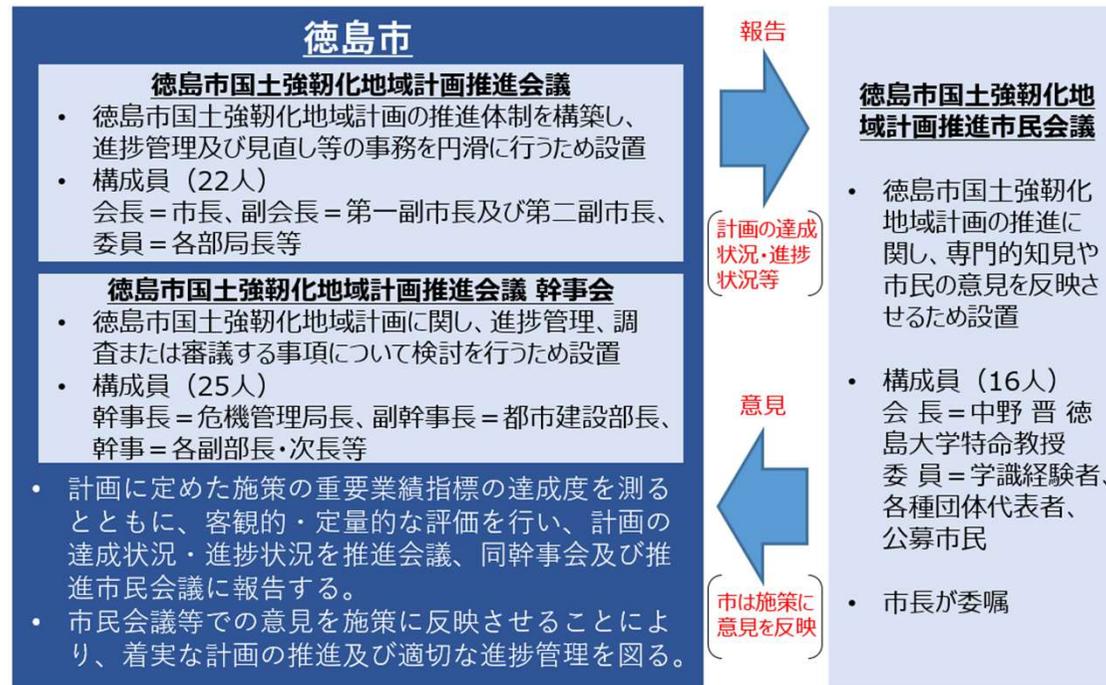
1. 取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- 徳島市国土強靱化地域計画の策定に当たっては、専門的知見や市民からの意見を反映させるため、令和元年11月8日に学識経験者、各種団体代表者、公募市民など16人で構成される「徳島市国土強靱化地域計画策定市民会議」を設置した。
- 地域計画の策定後、施策の進捗管理・評価や見直し等を行うに当たっても、引き続き市民等の意見を踏まえる必要があった。

2. 取組の内容

- 1. の背景を踏まえ、令和2年8月27日に「徳島市国土強靱化地域計画推進市民会議」（以下「推進市民会議」という。）を設置した。
- 推進市民会議では、地域計画に定められた重要業績指標の年度ごとの目標値の実績とその課題等を審議するとともに、計画をより実効性のあるものとするため、「新規施策」及び未設定の「重要業績指標」の追加を検討している。

(地域計画の推進体制※令和5年3月現在)



3. 本取組と地域計画の関係及び取組の効果等

【地域計画における記載】

- 地域計画には参考資料として推進市民会議の開催経過や議題、設置要綱、委員名簿等を記載している。

【取組の効果等】

- 行政内部での自己評価に留まらず、外部からの幅広い意見を聴取できている。
- 推進市民会議で「新規施策」及び未設定の「重要業績指標」の追加・修正の妥当性を検討することによって、令和2年度は14施策、令和3年度は5施策の新規施策を追加することができ、最新の専門的・学術的な知見や新たな国の制度等を踏まえた計画のブラッシュアップを図っている。

※市民会議開催実績

[策定市民会議]

令和元年度：3回

[推進市民会議]

令和2年度：3回、令和3年度：2回、令和4年度：2回

4. 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- 重要業績指標の追加や設定、見直しにつながるなど、より専門的な知見や幅広い市民の意見を計画の推進に反映させることができている。（庁内職員）

5. 今後の展開予定

- 地域計画の計画期間が令和5年度までとなっているため、令和5年度は地域計画の推進状況の評価と第2期計画の策定を併行して行う。
- 実施に当たり、令和5年度は、年3回の市民会議の開催を予定しており、幅広い意見を聴取・反映させることにより、実効性のある計画の策定・推進を行う。